

# 【ねがいましては】

第2号

昭和63年2月25日

発行 共和珠算塾 新浜教室

春には、まだ主演の座を渡さんぞとばかりに、寒さがラストスパートをかけているこのごろです。子供達の手や耳がしもやけで、とてもかゆそうです。

「他人をおもいやり」、やさしさのある子供になってくれたら」そう願うご父母の方が多いことと思います。教室でも時々それを感じることがあります。

待合室には、マンガの本等がおいてあり、子供達は自由に読め、また持ち帰ることもできます。実は私あまり本の整理をしたことがありません。なぜか、誰かが整理してるんです。くつなどもぬぎっぱなしだと、げた箱へ入れてくれる子もいます。教師用の筆入れの中のえんぴつが、いつのまにかとがっていたり、誰なんでしょう。ありがとう、だれかさん、これからもよろしくお願いします。

なんと子供達から教えられることの多いこと、これこそ思いやり・・・

先日、ある教育雑誌に主婦からのお便りがありました。

庭先や家の中にも、いろんな虫が出てくる。ゴキブリもそうだ。我が家の四歳になる娘は「おかあさん、ゴキブリはいけない虫？」と聞く。私がゴキブリとか、ネズミ、ハエはバイキンをもって来るから悪い生き物よ、といつもいっているからだろう。「じゃ、バッタは？ チョウチョは？」「バッタやチョウチョは、なにもしないからいいのよ」「・・・・・・？」

わかっただろうか。幼い娘には、バッタもゴキブリも同じ虫に見えているだろうに。その証拠に、あれはゴキブリの子どもなのか、よくはしらないが小さいゴキブリを、私は見つけるとティッシュで取ってしまう。それを見て娘がいった。「ゴキブリの赤ちゃん。おかあさんの所に行こうとしていたのに・・・・・・」といって、涙を一杯ためて泣きだすのです。

私は切なくなってしまう。私だってゴキブリを殺さないですませられるのなら、すませたいけど・・・・・・。今の世の中、娘の優しさは弱さにさえ感じられるけど、でも私は虫の死にも涙を流せる娘の方が好きだ。

それから何日かして、今度は片足のないバッタが、洗濯機の排水に流れてしまい、気がついた時は遅くて、もう下水の方についてしまった。それを見ていて、またも娘は、辛くなって一人クッションの上で涙をふいている。娘が保育所にいった後、私は洗濯を続けるため洗濯機のところにいった。すると、下水の縁にしがみついて、はいあがってきたのか片足のバッタがそこにいたのです。

私はそっと、菊の苗にバッタを休ませました。娘が見たら、どんなに喜ぶだろうと思いました。バッタさん、娘が保育所から帰ってくるまで、どこにもいかないで、そこにいてと、私は祈ったのです。

☆203回検定で一級合格者が出ました。・・・米田 美由紀さん（高一）おめでとう！

☆2月7日（日）東京湯島天神にて全珠連主催の「ちびっこそろばんまつり」がおこなわれ  
当教室から、真田 梨衣ちゃん（小2）・鈴木 綾ちゃん（小2）が参加しました。

各テレビ局も取材に訪れ、楽しい一時をすごしました。

## 3月の主な予定

3月 5日（土）	204回検定受付締切（珠算・暗算）
17日（木）	暗算検定1～6級（塾で行います）
19日（土）	珠算検定4～10級（塾で行います）
20日（日）	珠算3級以上段位・暗算段位（中央商業高校）
22日（火）	ゲーム及びスピードプリントの練習
24日（木）	スピードプリント記録会
26日（土）	スピード競技ダブルスハンデ戦
29日（火）	春休みに入ります